

シモチカ新聞

発行日 8月27日(火)
 発行者 山田 睦実



どんな工事だったの？

この工事は、地上にあった線路を地下2階に移し、開かずの踏切9ヶ所をなくし、3つの駅が地下になりました。



この工事には、約300人の作業員が関わりました。また、工事期間中は、駅周辺の交通が多少の不便をきたす可能性があります。ご理解とご協力をお願いします。

	踏切	ホーム	表示板	駅入口
工事前	 「開かずの踏切」も最後の日は多くの人々が別れを惜しんだ。	 工事中のホームは、暗くてせまく、歩きにくかった。	 色が2色しかなく、急行や各停が分かりにくかった。	 踏切の上に改札口があり、駅への出入りが大変だった。
工事後	 踏切がなくなり、いつでも自由に反対側に行けるようになった。	 新しいホームは、明るくきれいになって歩きやすくなった。	 表示で、遠くからでも見やすくなった。	 また仮の駅ですが、道路からすぐに改札があった。

なぜこんな工事を？
 この工事により、開かずの踏切がなくなり、駅周辺の交通がスムーズになります。また、駅周辺の環境がよくなり、駅周辺の活性化が期待されます。



下北沢駅の改札口は、2階と地下2階の間にあり、エレベーターやエスカレーターが設置されています。また、駅周辺の環境がよくなり、駅周辺の活性化が期待されます。



バリアフリーの工夫

小田急の広報担当者に関きました！

- Q 工事の日はどんな感じでしたか？
 A 現場は終電から始発までの限られた時間で、工事を終わらせるために真剣そのものでした。テレビ局などの取材もたくさん来りました。
- Q 駅が地下になって、評判はどうですか？
 A のりかえには少し時間がかかるようになりましたが、踏切待ちがなくなり、便利になったほか、ホームやトイレがキレイになってお客様から喜ばれています。

必見！ 下北沢駅のこれから



2018年度完成予定の下北沢駅のイメージです！



感想
 ・電車を1本も止めることなく短かい時間で工事をやり上げた事は、すごいと思いました。
 ・2018年度には、人にも環境にもやさしく、きれいな駅が出来上がる事が楽しみです。

★新しい下北沢駅のコンセプトは、様々な人が訪れ、みか的で多様な文化を生み出す下北沢にふさわしい、多様な表情と個性を持ったデザインを目指します。
 ・改札口正面は、とう明なスクリーンを重ねたデザインで改札内に自然光をとりこみ、明るく開放的な空間を作り環境にやさしくします。